



学校だより

TEL 059-386-0012

FAX 059-387-0895

校長 楠田 謙治

すべての子どもに
居場所とやる気を



<https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/esasahigaoka>

令和5年12月5日 No.14

11月22日(水), 社会見学(リトルワールド)に行ってきました【5年生】。

先月(11月)の22日(水), 秋晴れの下, 5年生が社会見学で, 野外民族博物館:リトルワールド(愛知県犬山市)に行ってきました。当日の様子(一部)を, 写真にて紹介致します。



◇ 12月9日(土)は、「クリーン旭が丘(雨天決行)」の日です(お知らせ)。

今週の12月9日(土)は, 旭が丘地区まちづくり協議会が主催する「クリーン旭が丘(雨天決行)」の日です。当日は朝9時から, 旭が丘のまちを綺麗にする目的で, 各御家庭の近くから旭が丘小学校までの道端のゴミを拾って, 旭が丘小学校の体育館前(駐車場)に集まるという取組が行われます。既に申し込みをされた方は勿論, 当日参加も可ですので, 奮って御参加ください。なお, 「参加賞(旭が丘地区まちづくり協議会から)」や「焼き芋販売(PTAおやじクラブによる)」もあるとのことです。宜しくお願い致します。

◇ 11月7日(火), 白子中学校区(白子中, 旭が丘小, 桜島小, 稲生小)
の「合同学校運営協議会」が実施されました(@白子中学校)。

先月(11月)の7日(火), 白子中学校区(白子中, 旭が丘小, 桜島小, 稲生小)の学校運営協議会委員(自治会長, 主任児童委員・民生児童委員, まちづくり協議会関係者, PTA役員他)の皆様が一堂に会して, 「合同学校運営協議会」が実施されました(@白子中学校)。義務教育期間の9年間を通して, 地域の子どもたちを見守り育てていくために, 今回は, 下表にある3つのテーマで交流を行いました(委員の皆様から出された主な意見をまとめました)。この3つのテーマにつきましては, 今後も, 白子中学校区(白子中, 旭が丘小, 桜島小, 稲生小)の共通の取組として進めて参りますので, 御理解・御協力, 宜しくお願い致します。

あいさつ・交通安全	家庭学習の定着	スクリーンタイムの縮減
<p><あいさつ></p> <ul style="list-style-type: none">各校地域の皆様が, 交差点等に立って声をかけてくださっている。声をかけると, 挨拶を返せる子が多いが, 全員ではない。でも, 大人から挨拶することが大切だと思う。中学生になると, 挨拶を返せる子が増えてくる様である。学校でも指導をして頂いているが, 全員が挨拶できるまでには至っていない。家庭にお願いすることにも限界がある。学校と家庭の連携を図り, 挨拶ができる子を増やしていきたい。 <p><交通安全></p> <ul style="list-style-type: none">子どもたちの様子を見てみると危ない場面が多々ある。これまでも, 地域の中の危ない箇所を知らせたり直したりしてきた。学校と家庭と地域で, 協力して交通安全を考えていくことが大切である。いろいろな場面で, 危険なことを教えていかないといけない。	<ul style="list-style-type: none">理解できない, 分からないからやりたくないという気持ちが生まれる。勉強をする期間(強化週間)を設けると子どもたちは頑張る。保護者も毎日勉強を見ることはできない。中学生は, 部活動があるので時間に余裕がない。子どもによっては, 朝, 宿題をする子がいる。保護者の負担が大きいの強化週間等があると協力しやすい。そもそも家庭学習とは何かを考えることも大切。勉強だけでなく, 母親と料理をすることなどもよいのではないか。低学年のうちに定着させないと, 高学年になるともつとなくなる。子どもは, 自分が好きな分野は一生懸命に取り組む。クロムブックが主流になってきて, 親が子どもの勉強を見ることが難しくなってきた。子どもそれぞれに合った勉強の仕方を模索することも必要である。	<ul style="list-style-type: none">家庭内での時間のコントロールが, 昔に比べて難しくなってきた。親と子どもの通信手段のためにスマホの普及が低年齢化している。大人自身, スマホ使用についてコントロールできていない人が多い。部活動や外遊び, 運動の時間が減ってきている。SNSを通じたいじめが増えてきた。スマホの使い方を, 家庭(親と子)で話し合うことが大切。スマホは親のもので, 子どもは借りていることを認識させるべき。家庭内で使う場所・時間のルールを決めることが大切。自室に持ち込ませない。SNSでのいじめは, クラス内だけでなく, 全国の人からいじめられる(拡散の力が大きい)という側面がある。昔と今は全く違う。健康被害(近視やドライアイ)等の被害もある。親がもっと真剣に, スマホ等の使用について干渉・制御するべき。学校からの保護者への教育も必要。保護者は子どものスマホ使用に対してもっと関心を持ち怖さや悪影響について知ることが必要である。大人自身も, 使い方を見直すべき。